

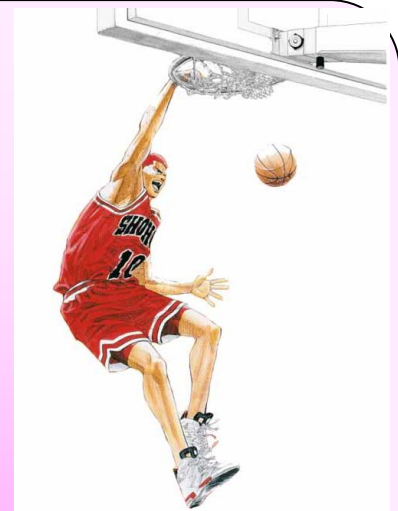


「ウィリアンくん」

高校最大の大会「インターハイ広島県予選」での出来事。平成20年広島県総体バスケットボール大会準決勝に如水館高校が創部以来、初めて進出した。そのチームの中に、塩見ウィリアンくん（高美が丘中出身）がおり、2年生ながらスタメン出場した。

ウィリアンくんは、ブラジル出身で小学校2年の時、日本に来る。3人兄弟の2番目でご両親は日本語があまり話せない。家計は苦しく、本人は中学校の間だけバスケットをすることを認められ、高校は働きながら定時制高校に進学する気持ちであった。彼は、日本人以上に日本人特有の気質を持ち、情に厚く涙もろい面があった。勉強もよく頑張り成績も良かった。三年生の11月、まわりは、如水館進学を勧めたが、かたくなに「就職をして定時制に行く」と言い張った。如水館の先生は、彼の能力・人間性を認め、「ぜひ、如水館へ」と、学費免除するだけでなく、制服・教科書に至るまで在校生よりかき集めた。それでも、彼は、拒否し続ける。すると、中学校長が、「出世払いでいいよ」と入学金を立て替えてくださり、周りの手厚い援助により「如水館入学」を決める。三原駅からのバス代が高いため（1ヶ月3万円）10km以上の道のりを自転車で通う。（行きは、登り道40分。帰りは、下りで20分）そして、1年後。

インターハイ広島県予選準決勝。2年生ながらスタメン出場。毎日の厳しい練習と自転車通学で鍛えた脚力がスーパープレーを生み出す。数限りなくリバウンドをもぎ取り、31得点をたたき出す。「塩見ウィリアン」の名前が広島県内に響き渡った瞬間であった。中学から始めたバスケットが、周りへの感謝の気持ちを原動力として花開いた。



奇跡は、素直な心と地道な努力から起こるべくして起こるものだと改めて感じた。**大きな夢を持つことは本当に素晴らしい。**みなさんには、大きな夢に向かって挑戦し続けてほしい。その中から、きっと素晴らしい何かを手に入れるはずである。この「ウィリアンくん」のように・・・ところで、**3年生の皆さん、自らの進路実現に向けて『断固たる決意』を持って取り組んでいますか？**

現在、「ウィリアンくん」は福山で働いている。先日連絡があり、結婚したとのこと。

「相手は誰？」「中学校時代の女バスの子」・・・「はあ？」

世の中、ほんとに何が起こるか分からない！

だから、人生っておもしろい！

